

製品名: MMP7 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87267**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000
分子量	Calculated MW:30 kDa; Observed MW:30 kDa

抗原情報

遺伝子名	MMP7
別名	MMP-7; MPSL1; PUMP-1
遺伝子 ID	4316
SwissProt ID	P09237
免疫原	ヒト MMP7 の組み換えタンパク質

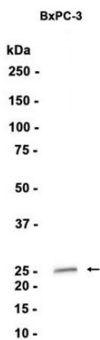
背景

この遺伝子は、マトリックスメタロプロテアーゼ（MMP）のペプチダーゼ M10 ファミリーのメンバーをコードしています。この

ファミリーのタンパク質は、胚発生、生殖、組織リモデリングなどの正常な生理学的プロセス、および関節炎や転移などの疾患プロセスにおける細胞外マトリックスの分解に関与しています。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって成熟プロテアーゼを生成します。この分泌型プロテアーゼは、プロテオグリカン、フィブロネクチン、エラスチン、カゼインを分解します。この酵素は、保存されたC末端ヘモキシンドメインを欠いている点で、ほとんどのMMPファミリーメンバーと異なります。この酵素は創傷治癒に関与しており、マウスを用いた研究では、腸粘膜におけるディフェンシンの活性を調節することが示唆されています。この遺伝子は、11番染色体上のMMP遺伝子クラスターの一部です。この遺伝子は、複数のヒト癌において発現レベルが上昇しています。[RefSeq 提供、2016年1月]

研究分野

画像データ



MMP7 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した BxPC-3 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。